

平成 22 年度疫学倫理審査対象研究課題の概要

研 究 課 題	重症呼吸器ウイルス感染症のサーベイランス・病態解明及び制御に関する研究	
事 業 期 間	H23～24	
研究目的・内容	呼吸器ウイルスの多くは気管支炎や肺炎などの重症感染症を引き起こすが、重症呼吸器ウイルスの実態や病態はよくわかっていない。そこで、重症呼吸器ウイルス感染症における包括的なウイルスサーベイランスを行い、呼吸器ウイルスと重症呼吸器感染症の因果関係を明らかにすることにより、公衆衛生の向上を図る。	
期待される効果	○当センターにおける新たなウイルス検出、検査手段の確立、サーベイランス機能の充実につながる。 ○呼吸器感染症の重症化の原因となる呼吸器系ウイルスの詳細や疫学が明らかとなり、疾病への適切な診断や治療が確実に実施でき、県民の健康保持につながる。	
倫理的配慮事項	○医師が、研究の趣旨を説明し、文書で同意書を得たうえで、検体（鼻やのどの拭い液）を採取する。 ○研究者は、既に連結不可能匿名化された情報のみを用いる	
	意 見	対 応
主 な 意 見 等	なし	